

3 男女が自立し安心して暮らせるまちづくり

対象事業	現状・課題	意見
事業番号 25	<ul style="list-style-type: none"> ・高等職業訓練促進費受給者：17人 	<ul style="list-style-type: none"> ・このうち、就職できた率は追跡調査しているのか？
事業番号 26	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等を通じて困窮を把握した人に学校等が家庭訪問等の際にフードバンクを給付している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄付は社協だよりで公募しているが、フードバンクを利用したい人に広報をしておらず、なおかつ直接フードバンクを利用できない。利用しやすい体制や広報が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・就学している人は校納金等で困窮が判明するが、それ以外の人の見えない困窮が把握しにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな支援を役所がしているのかがわからないので、広報・周知が必要。
	<ul style="list-style-type: none"> ・役所に相談しないと困窮はわからないが、役所は敷居が高く相談できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役所は、相談しやすい体制・仕組みづくりをしていく必要がある。
事業番号 27	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の公営住宅が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者は足が不自由で階段がつからく1階が望ましい等、公営住宅の入居に際して一定の条件がある。高齢者向けの公営住宅を確保する取り組みを行ってほしい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・母子世帯1戸追加、多子世帯1戸追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、公営住宅で母子・多子世帯向け住宅は何戸あるのか？
事業番号 28	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報システムは災害の際の利用になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害以外に注意喚起にも使えるようにしてはどうか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・他自治体ではボタンを押すだけで使える緊急通報システムがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急通報システムを高齢者に使いやすいものにしてほしい。
事業番号 29	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターの受託件数：3,233件 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度より減ったのはコロナの影響か？
	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーター養成講座受講者数：47人 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サポーターを利用できる条件や広報をもっと積極的に周知してほしい。
事業番号 32		<ul style="list-style-type: none"> ・支援事業はすべてボランティアでなく有償の業者がサービスを提供しているのか？
事業番号 39	<ul style="list-style-type: none"> ・マイレージの利用方法が分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定や利用方法をまちづくり推進センターに保健師が出向いて説明会等を実施するなどして、わかりやすく説明してほしい。